

【八峰町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

八峰町では、学習指導要領及び中央教育審議会答申において示された「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の実現のため、1人1台端末を活用した学習活動の充実と教員のICT活用指導力の向上を目指す取組を実施する。

また、第2次八峰町総合振興計画・後期基本計画の八峰町学校教育の目標である「ふるさとを愛し、豊かな心をもち、力強く生き抜く人間の育成」の三つの柱の一つとして「ICTを活用した授業向上による確かな学力の定着」を掲げており、変化の著しい教育の動向に合わせて、人的配置や研修期間、施設設備や教具などの充実を図り、一層教育環境を整備していく。

2. GIGA第1期の総括

八峰町では、GIGAスクール構想以前の平成23年度からタブレット端末と電子黒板の導入を進めてきたが、老朽化により不具合の生じる端末も多くあり、GIGAスクール構想の下、令和2年度に従来のタブレット端末の一部更新と合わせ、児童生徒1人1台端末の導入及び校内ネットワークの再整備を実施した。また、コロナ禍の令和3年の冬季休業から、児童生徒のタブレットの持ち出しを可能とし、リアルタイムでの情報共有を行ったほか、Web会議サービスを活用し、不登校や感染症など様々な事情により教室で学ぶことができない児童生徒に対して朝の会等の様子や授業の配信を実施している。

1人1台端末と電子黒板の連携や学習用ソフトウェアを導入したことで、児童生徒同士の意見交換が活発になり、児童生徒自らがドキュメントやスライドの作成、資料の共有などの学習活動ができるようになった。

授業でのICTの活用については、ICT支援員を中心とした効果的な活用方法の模索や校内研修会、町主催のICT研修会、さらには県主催のICTを活用した授業力向上事業等を通してさらなる充実を目指していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

- ・教育委員会が町内の全教職員を対象とするICT研修会を開催し、先進的な全国の取組や有効性のある活用方法を共有することで全体のスキル向上につなげる。
- ・ICT機器を効果的に活用し、教員や児童生徒の学習活動をサポートするため、現在小中学校に勤務しているICT支援員を引き続き配置し、1人1台端末の利活用の機会を促進する。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

- ・児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組めるよう、令和7年度において「AI対話型英会話アプリ」を導入し英会話力の向上を目指す。
- ・授業支援ソフトを活用し、意見の可視化・共同編集等の機能により児童生徒同士が協力して学べる機会を増やす。

(3) 学びの保障

- ・オンラインによる学習の指導として、不登校児童生徒に対して1人1台端末を活用し、授業への参加・視聴の機会を提供する。